

2024 年度 第 1 回一宮市男女共同参画推進懇話会 議事録（要旨）

日 時 2024 年 7 月 8 日（月）14：00～15：00

場 所 本庁舎 6 階 特別会議室

出席者 11 名

欠席者 1 名

傍聴者 0 人

議 題

- (1) 正副会長の選任について
- (2) 第 3 次一宮市男女共同参画計画推進状況（2023 年度実施状況）について
【資料 1・2】
- (3) 第 4 次一宮市男女共同参画事業実施計画（2024 年事業実施計画）について
【資料 3】
- (4) その他
 - ・ 2024 年度の男女共同参画啓発事業について【資料 4～6】

【議事録】※発言順

議題 1 正副会長の選任について

委員からの推薦、全会一致により渋谷委員が会長に、平岩委員が副会長に就任。

議題 2 第 3 次一宮市男女共同参画計画推進状況について

資料 2 について（全般）

懇話会委員意見	事務局の回答
・ 世の中のスピードが早く、特に LGBT や DV、ハラスメント等は 1 年単位で状況が変わっている印象。一般的な話として、DV やハラスメントでは男性の相談件数を含めない場合もあることには疑問に思う。「婦人部会」という名称が残っていることも違和感を感じたが、まだまだ固定観念が残っていて、気が付かない部分があるのではないかと感じた。 ・ 自主防災リーダー養成講座を受講したかったが、都合が合わず受講できなかった。1 日がかりの講座だが、介護で長時間の確保が難しいなど、やむを得ず受講できない人もいると思うので、複数日の開催やオンラインでの受講など選択肢を増やすと、もっと多くの方に受講のチャンスが広がると思う。	・ 「婦人消防クラブ」（資料 1、19 ページ）の名称は今年度から「女性消防クラブ」に名称変更し、第 4 次計画には変更後の名称で記載している。 ・ 一宮市では DV 相談は男性からも受付しており、件数に含まれている。 ・ 事業担当課（危機管理課）へご意見をフィードバックする。
資料 2 について（市民アンケート）	

懇話会委員意見	事務局の回答
・「市民アンケート」について改めて教えてほしい。 ・アンケート結果で「社会全体において男女の地位の平等と感じている人の割合」が基準年より下がっていることについては、コロナ禍を経て変わったなど、理由は分かるか。 ・社会全体での男女共同参画の意識の高まりにより、これまで当たり前と感じていたことに疑問や気づき生まれ、認識の枠組みが変わって数値の変化に繋がるのではないかと思う。 ・「男女差なく働けると感じる人の割合」が大きく低下していることについてはどうか。コロナ禍よりも低下している。 ・コロナ禍で非正規女性の解雇が多かったことなどが、より鮮明になったかもしれない。 ・通常勤務や出張、会合等が戻ってきた中で、より違和感を感じたこともあるかもしれないが、来年度以降の状況を注視していきたい。	・無作為に選んだ3,000人にアンケート用紙を送付し、電子又は紙で回答してもらうもの。 ・理由ははっきりしていない。同じアンケート結果で「家庭生活において」平等と感じている人の割合はここ数年上昇率が高いことについては、コロナ禍でのテレワークなど働き方の変化や男性育児休業の取得率などが関わっていると推測する。 ・はっきりとした原因は特定できない。
P4 14「名簿作成上の配慮」について	
懇話会委員意見	事務局の回答
・混合名簿を全校で作成したことにより、何か変化があったか。 ・男女別の授業など内容によっては別にしなければならないため、事務処理上の手間はありますが、子どもたちにとっては特に問題はない。慣れの問題だと思う。ただ、中学生は思春期にあたることもあり（同性が隣同士でない等）これまでと違うことが気になる生徒もいる。年齢に関わらず、性別について全く気にならない子もおり、子どもたち一人ひとりの成長や気持ちに寄り添った対応を前提としてサポートしながら、今後も継続していく予定。	
議題3 第4次一宮市男女共同参画事業実施計画について	

P4 通番 21「一宮市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の周知啓発」について	
懇話会委員意見	事務局の回答
・愛知県内での自治体間連携があると思うので、その点についても併せて啓発してほしい。当事者だけでなく周囲の方への周知も大切だと考える。 ・現在の宣誓件数は？	・8件受付している。
P16 通番 89「中学校生理用品配布事業について	
懇話会委員意見	事務局の回答
・保健室に取りに行くよりハードルが低く、とても良い取組だと思う。	
P4 通番 20「性的少数者についての意識啓発」について	
懇話会委員意見	事務局の回答
・「性」は全員に関わることなので、「少数者」のみを過大視するのではなく、全ての人の人権として「SOGIに関わる人権」の啓発などの表現にすると、認識も変わるのではないかと思う。 ・計画の修正はすぐにはできないことは承知しているので、事務局で事業実施にあたっては上記のような表現を活用してほしい。	※SOGI 恋愛・性愛の対象がどの性になるのかという Sexual Orientation (性的指向) と Gender Identity (性自認) の頭文字をとった言葉 ・事業実施する際は名称を検討したい。
P1 通番 3「出前講座」について	
懇話会委員意見	事務局の回答
・内容はどのようなものか。昨年と同じ内容か。 ・タイトル「男女共同参画ってなに？」を見ると、導入期（初心者向け）の話に感じる。もう少し進んだ内容で、日常生活に寄り添った内容だと希望者が増えるのではないか。	・希望に応じて内容は事前相談のうえ決めるが、男女共同参画とは何か、という大枠の話が主になる。 ・要望を聞いたうえで個別にテーマを設定していく。

議題 4 その他
2024 年度啓発事業について意見なし。 次回、第 2 回懇話会は 10 月中旬を予定している。後日、事務局から通知文を送付する予定である。